

二〇一四年六月六日

雨降って紫陽花姿勢正しけり
女子アナは和服で取材菖蒲園
色褪せしサッカーボール梅雨に蹴る
草矢うつ小さくなりし夫の背へ
通勤のたびに確かむ燕の子
茄子の花水やり日課おこたらず
比翼塚濡らす卵の花腐しかな
毛虫見てよりむず痒き後ろ頸

満天

よし女

三刀

菜々

なつき

宏虎

菜々

うつき

二〇一四年六月五日

侵入のどぜうに騒ぐ蝌蚪の国
ゆきわたる棚田の水に風あそぶ
梅雨の雲天蓋なせる京盆地
老鷺や嶮磴に息整へむ

なつき

雅流

せいじ

はく子

二〇一四年六月四日

睡蓮の花の躍るは鯉ならむ
雑魚寝なる船室の窓明易し
搾乳の音の涼しき牛舎かな

せいじ

はく子

ひさ野

二〇一四年六月三日

八分の一の西瓜がよく売るる
引戸また機嫌斜めや梅雨に入る

満天

うつき

二〇一四年六月二日

青嵐萍 暈落ち着かず
薔薇意地悪撮らんとすればそっぽ向き
石庭の主峰を好む夏の蝶
片陰に尽きることなき立ち話
肩車されて実梅をもぐ子かな

せいじ

ぽんこ

よし子

満天

よし女

二〇一四年六月一日

磯におく昼餉気にしつ潮干狩
茄子胡瓜育てて余生恙なし

なつき

満天

二〇一四年五月三二日

庭に得し初なり胡瓜仏前へ

菜々

毎日句会みのる選・二〇一四年六月八日